

東京国立博物館 ニュース

2014 2015
12-1

展示と催し物案内
第728号

2-3 ◆ 「博物館に初もうで」/4 ◆ 特別展「みちのくの仏像」
5 ◆ 特別展「3.11 大津波と文化財の再生」/特別展「コルカタ・インド博物館所蔵 インドの仏 仏教美術の源流」
特別展「鳥獣戯画—京都 高山寺の至宝—」/6 ◆ 黒田記念館リニューアルオープン
7-11 ◆ 総合文化展 / 11 ◆ 保存と修理情報②⑥ / 12-13 ◆ みどりのライオン 教育普及事業
14-15 ◆ イベント&インフォメーション / 16 ◆ 2014年12月・2015年1月の展示・催し物



富士山、鶴亀、初日の出。
トーハクで新しき年の福さがし





特 ● 松林図屏風

長谷川等伯筆
安土桃山時代・16世紀
本館2室
1月2日(金)～1月12日(月・祝)

筆の動きと墨の濃淡だけで、霧のなかに浮かび上がる松林。木々の間を渡る風の音も聞こえてきそうです



特 ● 東海道五十三次絵巻 巻3

(掲載部分は今村紫紅筆の「吉原(静岡県富士市)部分」)
横山大観、下村観山、今村紫紅、小杉未醒各筆
大正4年(1915)
東海道五十三次絵巻9巻のうち

本館18室
1月2日(金)～2月8日(日)

横山大観ら4人の日本画家が汽車を使わず、江戸時代のように人力車や駕籠などで旅して描いた東海道の名所絵巻

初もうで
TOPIC

その1

名品いっぱい!
新春特別公開!!

ここで紹介した作品はほんの一部だほ。その他にも、名品いっぱい!



初もうで
TOPIC

その2

本館特別1室には「未」が集合!!
特集「博物館に初もうで
ひっじと吉祥」

1月2日(金)
1月12日(月・祝)

博物館に初もうで
新春にちなんだ展示・イベントが目白押し!

新年恒例となる「博物館に初もうで」も今回で12年目。「申」から始まった本企画も2015年の「未」でひと回りです。名品の特別公開、干支や吉祥にまつわる展示、和太鼓や獅子舞などの伝統芸能まで、トーハクで楽しむ「ニッポンのお正月」! その見どころをご紹介します。



2015年
1月2日(金)
1月12日(月・祝)



あけましておめでとう!

2015年もよろしくお祈りします。



トーハクくん



ユリノキちゃん

東京国立博物館キャラクター

2015年は未年です。ヒツジ(羊)は紀元前より、東西を問わず、人類にとって最も身近な動物のひとつでした。また、神への最適な捧げものとして考えられていたため、「羊」はやがて「よきもの」の意を備え、古代中国では青銅器などに羊文が表わされ、「美」「善」「祥」といった文字にも羊の字が使われるようになります。一方、

羊の生息しない日本では、明治時代まで、半ば想像上の動物に近い存在として表現されてきました。今回の「博物館に初もうで」では、中央アジアから東アジアまでの遺物を通じて羊と人との関係を探るとともに、日本人が思い描いた羊の姿もご覧いただけます。

正月限定! カレンダー付きワークシート「羊は何匹?」

「博物館に初もうで」の期間中、ご来館のお客様にトーハク所蔵品の画像を使用した2015年カレンダー付きのワークシートを特別1室でお配りします。(先着10,000名様。なくなり次第終了)
1月2日・3日の2日間は、ワークシートのクイズ「羊は何匹?」に正解した中学生以下のお客様にプレゼントをご用意しています!(プレゼントの配布は11:00～16:00、本館特別4室で行います)



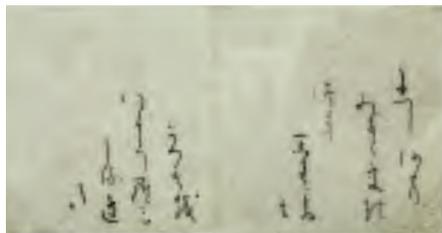
青玉筆洗
中国 清時代・19世紀
神谷傳兵衛氏寄贈



本館以外にも、館内には「未」をモチーフにした作品がたくさん!



十二神将立像
未神
鎌倉時代・13世紀



特 ◎寸松庵色紙

伝紀貫之筆
平安時代・11世紀 浅野長武氏寄贈
本館3室
1月2日(金)～1月12日(月・祝)

特 升色紙

伝藤原行成筆
平安時代・11世紀
本館3室
1月2日(金)～1月12日(月・祝)

特 継色紙

伝小野道風筆
平安時代・10世紀
本館3室
1月2日(金)～1月12日(月・祝)

茶席で尊重されてきた「三色紙」をご紹介します。余白を生かした和歌の散らし書きは、平安時代の美意識を反映しています



きゃー！
平安時代の書、「三色紙」揃い踏み！

初もうで TOPIC その3

展示室で探そう！
めでたいモチーフの名品

こいつは一春から一縁起がいいほー!!



鶴
くろぞうがんとちつるもんちやわん
黒象嵌立鶴文茶碗
江戸時代・18世紀
松平直亮氏寄贈
本館13室
～2月15日(日)



竹
いろえたけずとくり
色絵竹図徳利
江戸時代・17～18世紀
本館13室
～2月15日(日)



松梅
しょうばいくんけいすひょうぶ
松梅群鶏図屏風
伊藤若冲筆
江戸時代・18世紀
本館7室
12月9日(火)～1月25日(日)



曙
ふたみがうら制国のず
二見浦曙の図
歌川国貞(三代豊国)筆
江戸時代・19世紀
本館10室
1月2日(金)～1月25日(日)

初もうで TOPIC その4

展示室の外でも！
お正月イベント

1月2日(金)

- 10:30 和太鼓 批懸鼓 本館前
- 11:15 江戸の遊芸 太神楽 仙丸 本館前
- 12:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 13:00 和太鼓 批懸鼓 本館前
- 13:45 江戸の遊芸 太神楽 仙丸 本館前
- 14:30 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前

1月3日(土)

- 10:30 和太鼓 湯島天神白梅太鼓 本館前
- 11:15 クラリネット・コンサート ジュリアンズ 法隆寺宝物館エントランス
- 12:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 13:00 和太鼓 湯島天神白梅太鼓 本館前
- 13:45 クラリネット・コンサート ジュリアンズ 法隆寺宝物館エントランス
- 14:30 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前

*雨天時は、場所を変更、または中止になることがあります。

いけばな

1月2日(金)～1月12日(月・祝)
池坊 葺重仲氏

寛永寺根本中堂特別参拝

1月2日(金)、3日(土) 10:00～15:00
根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画(油画)、四天王像(江戸時代・元和6年(1620)台東区登録文化財)、十二神将像(江戸時代・元禄15年(1702))を公開。当館観覧券の半券(当日分)の提示で散華をお配りします。

東洋館シアター 無料上演

1月2日(金)、3日(土) 11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00
VR作品「法隆寺宝物館 聖徳太子ゆかりの名品 太子絵伝と灌頂幡」
定員:各回ともに90名

ミュージアムショップからお年玉

1月2日(金)、3日(土)
2,000円以上お買い上げのお客様、先着600名様にミュージアムグッズをプレゼント。
1月2日(金)～4日(日)
美術図書バーゲンセール

ホテルオークラレストラン ゆりの木、ガーデンテラスからプレゼント

1月2日(金)、3日(土)
ゆりの木ご利用のお客様、先着150名様に伊予の水引の箸置きをプレゼント。
ガーデンテラスご利用のお客様、先着150名様にヒマラヤ岩塩パウダー(小袋)をプレゼント。

ニッポンの伝統芸能まで楽しめちゃうのね!

みちのくの



仏像の

「東北の三大薬師」をはじめ、東北地方の名立たる仏像がやってきました！今号では、本展覧会を担当する丸山研究員が、特別に楽しみ方をご紹介いたします。



本館
特別5室

2015年
1月14日(水)
—
4月5日(日)

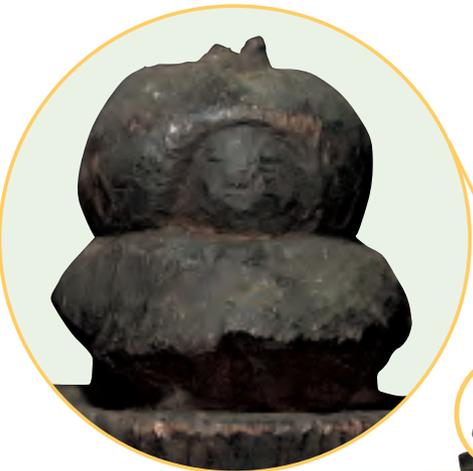
ズバリ、東北の仏像の魅力が知りたいです！

悟

りを開いた仏ではなうに人間のような表情が魅力です。「三大薬師」のように少しこわい顔をした像も、よくみると温かみがあるわってきます。生涯に12万体的くったという円空ですが、東北の円空仏の笑顔は格別です。



如来立像(部分)
平安時代・11世紀 岩手・天台寺蔵 画像提供:岩手県立博物館
モデルは身近な人だったにちがいません。素朴な表情が魅力です



聖観音菩薩立像(部分)
平安時代・10世紀 秋田・小沼神社蔵
画像提供:東北歴史博物館

小さな目が刻まれた頭上のコブは、おかつ頭の雪ん子のようにです

仏像ビギナーのわたしに、
仏像の見かたを
教えてください。

目

に注目してください。写真の仏像のほか、目尻がつり上がった厳しい目(黒石寺)、瞑想しているかのような静かな目(成島毘沙門堂)、一点を見つめる写実的な目(本山慈恩寺の寅神)に、私たちの目は釘付けです。つくった人の思いが見てとれます。

関連イベント

記念講演会「みちのくの仏像」

日時:2015年1月24日(土)
13:30~15:00(13:00開場予定)
会場:東京文化財研究所セミナー室
*会場は当館内ではございませんのでご注意ください。
講師:丸山士郎(当館平常展調整室長)
定員:110名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)
申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申し込みください。
申込先:〒106-8791 麻布郵便局留 特別展「みちのくの仏像」講演会係
*1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。
申込締切:2014年12月15日(月)必着

特別展「みちのくの仏像」

主催:東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社
後援:文化庁、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
協賛:大仲社 協力:あいおいニッセイ同和損害保険
観覧料金:一般1,000円(900円)、大学生700円(600円)、高校生400円(300円)
*()内は前売料金および20名以上の団体料金。中学生以下無料
*障がい者とその介護者1名は無料
*前売券は2015年1月13日(火)まで、当館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、チケットぴあ[Pコード:766-411]、ローソンチケット[Lコード:31761]、セブンイレブン[セブンコード:033-533]、イープラスほかにて販売中
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600
展覧会公式ホームページ:http://michinoku2015.jp/



やくしにょらいざう
●薬師如来坐像
平安時代・9世紀 福島・勝常寺蔵

「東北の三大薬師」って何ですか？

勝(しょう)常寺(じょうじ)・黒石寺(くろいしじ)・双林寺(すうりんじ)・宮城(みやぎ)の薬師如来像のことで、東北を旅するならば、ぜひ見ていただきたい3体です。いずれも1本の大きな木から彫り出された堂々とした姿で、1100年以上前につくられました。

特別展

「3・11大津波と文化財の再生」

被災した文化財の「現在」を知る

本館
特別2室
特別4室

2015年
1月14日(水)
3月15日(日)

2011年3月11日、東日本大震災による大津波は、地域の文化を支えてきた文化財にも甚大な被害をもたらしました。震災後、当館は、陸前高田市立博物館、岩手県立博物館などの関係機関と協力し、被災文化財の再生に取り組んできました。本展覧会では、被災現場から安全な場所へレスキューさ

れ、劣化を防止する処理(安定化処理)の後、本格的な修理が施された歌舞伎衣装、油彩画、拓本、古文書、漁労具、考古遺物、自然史標本など約70件の文化財を展示します。あわせて、これまでの4年間にわたる成果と現状を紹介し、被災文化財再生への取り組みをお伝えします。
(神庭信幸)



NPO法人文化財保存支援機構とともに、奥州市埋蔵文化財センターで行った拓本の安定化処理作業

特別展「3.11大津波と文化財の再生」

主催:東京国立博物館、津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会
観覧料金:総合文化展の料金でご覧いただけます
*障がい者とその介護者1名は無料
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

関連イベント

ミニ講演会&ギャラリートーク「被災現場からの報告」

(ミニ講演会)

日時:1月31日(土) 13:30~14:30

会場:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師:赤沼英男(岩手県立博物館学芸第2課長)、前田浩二(陸上自衛隊富士学校機甲科車両生徒班長)
定員:120名(当日受付、先着順)

(ギャラリートーク)

日時:1月31日(土) 14:50~15:30

会場:本館特別2室

講師:熊谷賢(陸前高田市立博物館副主幹)、神庭信幸(当館保存修復課長)

*当日受付、参加無料(ただし当日の入館料が必要)

シンポジウム

「文化を守る絆—津波被災文化財再生への挑戦—」

日時:3月11日(水) 10:00~15:00

会場:東京文化財研究所セミナー室

*会場は当館内ではございませんのでご注意ください。

定員110名(当日受付、先着順)

聴講無料

オルガン演奏会

大津波の被害に遭ったリードオルガン(陸前高田市立博物館蔵)の、修復後の音色をお楽しみいただけます。

日時:1月31日(土)、2月21日(土)、3月14日(土)

各日とも11:00~、13:00~、16:00~の1日3回

会場:本館大階段

演奏:中村由利子(1月31日)、相田南穂子(2月21日)、伊藤園子(3月14日)

料金:無料(ただし当日の入館料が必要)

特別展

「インドの仏教美術の源流」

インド仏教美術の至宝が急遽来日!

表慶館

2015年
3月17日(火)
5月17日(日)

インド東部の大都市コルカタ(旧カルカッタ)には、1814年に創立したインド博物館があります。アジア最古の総合博物館であるばかりでなく、古代インド美術のコレクションは世界的にも有名です。このたび、同博物館の仏教美術の優品を紹介する展覧会を開催いたします。古代初期を代表するパールフット遺跡の出土品、仏像誕生の地であるガンダーラやマトゥラーの美術など、インド仏教美術のあけぼのから1000年を超える繁栄の様子をたどります。ご期待ください。
(小泉恵英)



ほうりん さいはい
法輪の礼拝

インド パールフット出土
シュンガ朝・前2世紀頃
コルカタ・インド博物館蔵

特別展「コルカタ・インド博物館所蔵 インドの仏教美術の源流」

主催:東京国立博物館、インド政府文化省、コルカタ・インド博物館、インド大使館、日本経済新聞社、BSジャパン

協賛:野崎印刷紙業、三井物産

観覧料金:一般1,400円(1,200円/1,100円)、

大学生1,000円(800円/700円)、高校生800円(600円/500円)

* ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料

*障がい者とその介護者1名は無料

*前売券は2015年1月17日(土)から3月16日(月)まで販売。当館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、ほか主要プレイガイド、コンビニエンスストアで販売

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

特別展

「鳥獣戯画」が — 京都高山寺の至宝 —

修復完了! 国宝絵巻を一挙公開!!

平成館
特別展示室

2015年
4月28日(火)
6月7日(日)

動物や人びとの営みを墨線のみで生き生きと描く国宝・鳥獣戯画。全巻の修理を終え、魅力を一新したこの絵巻の全貌をご紹介します。展覧会をこの度開催します。また、鳥獣戯画の伝来した高山寺、そして鎌倉時代に高山寺を再興した明恵上人ゆかりの美術もかつてない規模で展覧。この春、必見の展覧会です。
(土屋貴裕)



●鳥獣人物戯画 甲巻(部分)

平安時代・12世紀 京都・高山寺蔵

展示期間:2015年5月19日(火)~6月7日(日)

※会期中、一部展示作品、および展示場面の変更を行います。「鳥獣戯画」は、全四巻の前半部分が前期、後半部分が後期に展示されます。「鳥獣戯画」以外の作品についても展示場面の変更や展示替えがあります。

●子犬

鎌倉時代・13世紀
京都・高山寺蔵



特別展「鳥獣戯画—京都高山寺の至宝—」

主催:東京国立博物館、高山寺、朝日新聞社

特別協賛:高島屋 お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

リニューアルオープン! 黒田記念館

2015年
1月2日
(金)



日本美術の近代化に尽くした洋画家黒田清輝。その遺言をもとに建てられた黒田記念館は、耐震工事のため2012年4月から休館していましたが、2015年1月2日(金)に公開を再開! 昭和3年(1928)の竣工時の姿を尊重しつつ、耐震性強化や温湿度等の環境を調べ、現代のニーズを満たした展示施設となりました。

以前は週2日の限定公開でしたが、リニューアルオープン後は公開日が格段に増えます。お気軽にご来館ください。

特別室 黒田の名作を限定公開します

黒田の代表作である「読書」「舞妓」「智・感・情」「湖畔」の4件を、作品に合わせた内装と照明のもとでご覧いただける展示室を新たに設けました。年3回、2週間ずつ公開します。静かにゆったりと作品をお楽しみください。

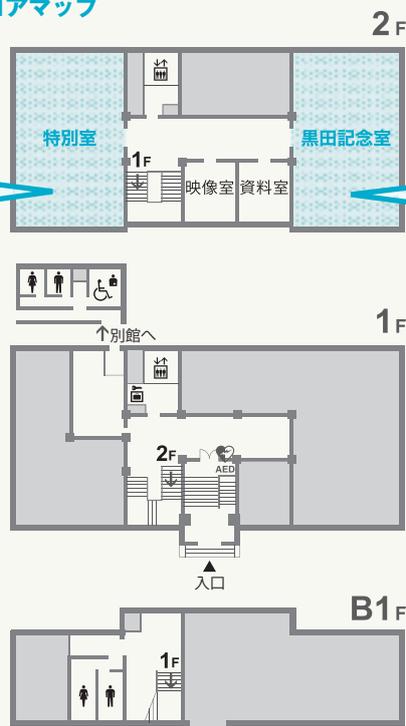
2015年の公開日

第1回
1月2日(金)～1月12日(月・祝)

第2回
3月23日(月)～4月5日(日)

第3回
10月27日(火)～11月8日(日)

フロアマップ



黒田記念室 いつでも黒田の画業に出会えます

黒田の画業を顕彰するために、故人の美的好みを知る人々によって創建時から設けられていた展示室です。当初の姿そのままの空間で作品をご覧いただけます。6週間ごとに展示替えをし、黒田記念館の所蔵作品を紹介します。



マンドリンを持てる女
黒田清輝筆 明治24年(1891)
展示期間:1月2日(金)～2月1日(日)
奏楽のミューズの寓意を踏まえた作品。1891年のサロンに送られましたが、落選となりました

主な作品



特◎湖畔
黒田清輝筆 明治30年(1897)
箱根の芦ノ湖畔で後の夫人をモデルに描かれ、1900年のパリ万博に出品されました。黒田自身が国際的な場に送った1点です



特◎智・感・情
黒田清輝筆 明治32年(1899)
1900年のパリ万博で、日本の洋画最高賞となる銀牌を受賞した作品。画題と人物のポーズは当時から議論的となっています



特◎読書
黒田清輝筆 明治24年(1891)
黒田のサロン初入選作。留学中にパリ郊外の農村グレー＝シュル＝ロワンで、マリア・ビョーという少女をモデルに描かれました

黒田記念館 東京国立博物館正門に向かって左側へ、道沿いにお進みいただくと上島珈琲店があります。黒田記念館展示室へは、その右隣の棟からお入りください。
観覧料:無料 開館時間:9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで) *時期により変動あり、東京国立博物館に準ずる 休館日:東京国立博物館に準ずる

本館 日本に出会う

本館 5・6室 武士の装い

甲冑のトレンドは「南蛮風」!

重文 紺糸威南蛮胴具足

11月26日(水)〜2015年2月22日(日)

徳川家康の四天王の一人といわれた榊原康政(1548〜1606)が、関ヶ原の合戦の直前に、宇都宮で家康から拝領した甲冑です。兜の鉢や胴は、正面に鎧を立てて、16世紀のヨーロッパの甲冑を模倣して作られており、南蛮胴具足といわれました。兜の後には、ヨーロッパの兜の羽飾りにならって、舶載品であった犛牛の毛を挿しています。個性的なものが多い桃山時代の甲冑のなかでも、一際エキゾチックな趣があり、当時の南蛮文化の広まりをうかがわせる具足です。

(池田宏)



◎紺糸威南蛮胴具足
安土桃山時代・16世紀
家康が好んだヨーロッパスタイルの甲冑です

本館 9室 能と歌舞伎

新春を壽ぐ能の世界

「能面・能装束にみる 神々の風姿」

11月26日(水)〜2015年1月25日(日)



特 能面 翁

室町時代・15〜16世紀
「翁(式三番)」で翁役がつけます。吊り顎が古式ゆかしい面です

江戸時代、能を式楽としてたしなんだ武家にとって、お正月や誕生日といった慶事に欠かせなかったのは、神々を主人公としたお能です。中でも「翁(式三番)」は、解説の難しい呪文のような謡とともに舞われる古式の能で、大変重んじられていました。また、神々を主人公とした能は「祝言能」としてさまざまな行事や祭礼に演じられてきました。

能を通して、日本人は神々の風姿をどのように思い描いていたのでしょうか。「翁」を中心に、神を演じる際に用いられる能面・能装束を展覧し、その幽玄なる風姿にせまります。

(小山弓弦葉)

本館 12室 漆工

祝意を詠み込んだ和歌の意匠

重文 男山蒔絵硯箱

2015年2月8日(日)

図柄の中には歌文字が隠されていて、「なほ照らせ代々にかはらず男山 仰々峰より出る月影」という『続後撰和歌集』の和歌を表わしています。蒔絵硯箱は硯や水滴、筆などの筆記具を収納する箱であり、古典文学と関連した意匠が多く見られます。これはその代表例ともいえるべき作品で、蓋表には山の端にのぼる月、険しい坂道、女郎花など、和歌によく詠まれる男山の風物を描いています。男山は山頂に石清水八幡宮をまつるところから、この歌のように祝意を込めた和歌が詠まれました。

(竹内奈美子)



(部分)

◎男山蒔絵硯箱
室町時代・15世紀
山の量感、肉合研出、時絵で、月の輝きは銀の厚い板で表現されています

本館 13室 金工

世界に誇る日本の金属加工技術

「江戸時代の金工 ―仏具・置物・飾・七宝―」

2015年2月8日(日)

江戸時代には多様な美術や文芸が展開しますが、金工も前代にまして細緻で装飾豊かな技巧、多種多様な造形が特色です。その代表的存在が「自在置物」(自在)。始めたのは、それまで鎧・兜を作っていた甲冑師たちでした。金属加工は、彼らが最も得意とするところ。とはいえ、鉄の板をリアルに整形し、細かいパーツを無数に作り、しかも自由自在に動くよう組み立てるには、どれだけの手間と技術を要したことでしょう。自在は、海外でも高く評価され、世界中に愛好者を生んでいます。

当館の誇る自在は、世界的に見てもトップクラスの出来ばえです。(伊藤信二)

自在龍置物

明珍宗察作 江戸時代・正徳3年(1713)
年代が記された現存最古の例にして、自在置物の最高傑作との誉れ高い逸品



自在伊勢海老置物

明珍宗清作 江戸時代・18〜19世紀
数あるエビの自在の中でもリアルさと精巧さでは、群を抜く存在です





11/26 水 — 2015年 2/22 日

◎紺糸威南蛮胴具足

安土桃山時代・16世紀
胴はヨーロッパの甲冑を模倣して作られ、兜は舶載品の可能性があります

4 茶の美術

◎浜松図真形釜

芦屋 室町時代・15世紀
浜松図を優美に鑄出し、わが国の茶の湯釜を代表する作品の一つです



— 2015年 1/25 日

◎大井戸茶碗 銘 有楽

朝鮮 朝鮮時代・16世紀
松永安左工門氏寄贈
茶人に愛された大井戸茶碗。穏やかな雰囲気漂わせています



炉の茶事を想定しながら道具をとりあわせて紹介します。

本館 ⑤ 室
武士の装い
— 平安～江戸



本館 ④ 室
茶の美術

3 - 3

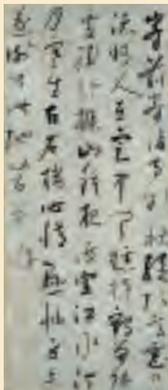
禅と水墨画 — 鎌倉～室町

11/26 水

2015年 1/12 月・祝

◎賈島詩

鉄舟徳濟筆
南北朝時代・14世紀
画僧としても知られた禅僧のおだやかな書です



1/14 水 — 2/22 日

◎南院国師忌拈香偈

清拙正澄筆
南北朝時代・延元2年(1337)
南禅寺の建立に力を尽くした南院国師を偈言葉が書かれています



本館 ③-3 室
禅と水墨画
— 鎌倉～室町

本館 ③-2 室
宮廷の美術
— 平安～室町

本館 ③-1 室
仏教の美術
— 平安～室町

3 - 2

宮廷の美術 — 平安～室町

2015年 1/14 水

2/22 日

◎綱絵巻(部分)

室町時代・16世紀
平安時代の武将、渡辺綱の鬼退治を描いた絵巻です



11/26 水 — 2015年 1/12 月・祝

『源氏物語』をテーマとした絵画と書跡を展示します。

源氏物語図扇面(空蟬) 室町時代・16世紀
扇に描かれた源氏絵です。よく見ると扇の折れ跡も確認できます



2 国宝室

2015年 1/2 金 — 1/12 月・祝

◎松林図屏風(右隻)

長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀
墨の濃淡により、霧に包まれ、現れ消える松林の風情がみごとに表されています



11/26 水 — 12/23 火・祝

◎破墨山水図(部分)

雪舟等楊筆 雪舟自序・月翁周鏡等六僧贊
室町時代・明応4年(1495)
図上の賛には、中国では李在と長有に画法を学んだことなどが自叙伝風に記されています



3 - 1 仏教の美術 — 平安～室町

2015年 1/14 水

2/22 日

◎仏涅槃図

室町時代・15世紀
2月15日の涅槃會に合わせた展示です。50種類近くの動物・昆虫なども細かく描かれています



1 - 1 日本美術のあけぼの — 縄文・弥生・古墳

12/9 火 — 2015年 5/10 日

◎銅鐸

弥生時代(後期)・1～3世紀
三重県伊賀市柏尾湯舟出土
当初の鳴り物としての機能を失い、華やかに飾りたてられた銅鐸です



12/9 火 — 2015年 2/1 日

◎火焰型土器

縄文時代(中期)・前3000～前2000年
伝新潟県長岡市馬高出土
誰もが知っている縄文土器といえば、教科書にも載っているこちらの火焰型土器



1 - 2 仏教の興隆 — 飛鳥・奈良

— 2015年 1/12 月・祝

◎十一面観音菩薩立像

飛鳥時代・7世紀
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈
日本における十一面観音像として最古の例。眉目を一文字に引いた童顔が特徴です



2015年 1/14 水 — 2/22 日

◎等目菩薩経巻中(吉備由利願経)

奈良時代・天平神護2年(766) 反町英作氏寄贈

吉備真備の親族であった女官の由利が、称徳天皇の恩に報いるために書写させた一切経の一つです



黒駒に乗って富士山もひとつ飛び!(部分)



11/26 水 — 2015年 1/12 月・祝

法隆寺宝物館で展示の国宝「聖徳太子絵伝」(～12月7日(日))に関連した作品も展示します。

◎聖徳太子絵伝 第二幅

南北朝時代・14世紀 川合玉堂氏寄贈
丁寧で堅実な作風が見所の、中世聖徳太子絵伝の作例です

7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

12/7 日

○秋山遊猿圖(部分)
森狙仙筆 江戸時代・19世紀

12/9 火

2015年 1/25 日

◎西湖春景
銭塘観潮圖屏風(部分)

池大雅筆
江戸時代・18世紀
中国の名勝地の水面やたなびく霞が、藍や黄の光を帯びて輝いています



猿の毛並みは迫真の描写で「狙仙の猿」といわれるほど評判を得ました

8-1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

11/26 水 — 2015年 2/22 日



2015年 2/22 日

◎色絵荒磯文鉢
伊万里
江戸時代・17~18世紀
波間から鯉が顔を出す荒磯文は、中国の絹織物からとった吉祥文様です



◎松竹梅堆朱盆
堆朱楊成作
江戸時代・18世紀
松竹梅は、めでたきものの象徴でした



◎群鶴時絵硯箱
江戸時代・18世紀
松永安左工門氏寄贈
千年生きるといふ鶴が群れをなす、おめでたい図柄です

8-2

12/7 日

書画の展開 — 安土桃山・江戸



◎五言絶句
尾藤三洲筆
江戸時代・19世紀
馬嘉瑞園氏寄贈
柴野栗山、古賀精里とともに「寛政三博士」と呼ばれた江戸中期を代表する儒者・尾藤三洲による書です



◎一行書
慈雲筆
江戸時代・18~19世紀
個人蔵
学者、書家として尊ばれた慈雲の闊達な書です

12/9 火 — 2015年 1/25 日



◎虎嘯生風圖
円山応挙筆
江戸時代・天明6年(1786)
植松嘉代子氏寄贈
柔らかそうな体毛の虎が、空に向かって吼え、激しい風が巻き起こります



9 能と歌舞伎

11/26 水 — 2015年 1/25 日

祝言能「翁(式三番)」を中心に、男神・女神の風姿を紹介します。



◎狩衣 紺地桐角紋散模様
江戸時代・18世紀
遠目にも映える金襴の模様が美しい男神の装束



◎直垂 紺地路形菊桐松喰鶴模様
室町~安土桃山時代・16世紀
岐阜・春日神社蔵
おほかから自由奔放な感覚の路形模様です

【衣装】 11/26 水 — 2015年 1/25 日

冬・新春をテーマに雪景色を表わした模様や吉祥模様の小袖や打掛などを展示します。



◎小袖 淡黄縮緬地縞 しまどりょうがえもよう 鳥取梅枝模様
江戸時代・18世紀
織模様の縞をあえて友禪染にした珍しい装いです



◎小袖 紅輪子地雪持笹模様
江戸時代・17世紀
模様はすべて細かい鹿の子絞りで表わしています

5

6

◎刀 無銘 元重 長船元重 南北朝時代・14世紀
徳川家康の次男・結城秀康の指刀で、華やかな朱塗の拵とともに展示します

武士の装い — 平安~江戸



◎朱漆打刀(○刀 無銘 元重の拵)
安土桃山~江戸時代・16~17世紀

本館 7室
屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸



本館 6室
武士の装い
— 平安~江戸

本館 8-1室
暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

本館 8-2室
書画の展開
— 安土桃山・江戸

本館 9室
能と歌舞伎

本館 10室
浮世絵と衣装
— 江戸

総合文化展 | 見どころ案内

本館 2階

[12月01日]

日本美

縄文から江
ほんものでた



特別2室

1F

1F

出口

10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

11/26 水 — 12/23 火・祝

雪景色や年末風俗を描いた作品と「仮名手本忠臣蔵」に題材を得た作品を展示します。

◎武家揉払の図

喜多川歌麿筆
江戸時代・19世紀
武家屋敷での女性たちのすす払いを描いていますが、実は忠臣蔵の討ち入り!?



1/2 金 — 1/25 日

お正月の風俗や正月らしい吉祥画題を描いた作品に興摺物を加えて展示します。



◎隅田川図巻
鳥文斎栄之筆 江戸時代・19世紀
恵比須・大黒・福祿寿、3柱の神様が連れ立っての古原通り

東洋館

アジアを旅する

東洋館 5室
「中国の染織」

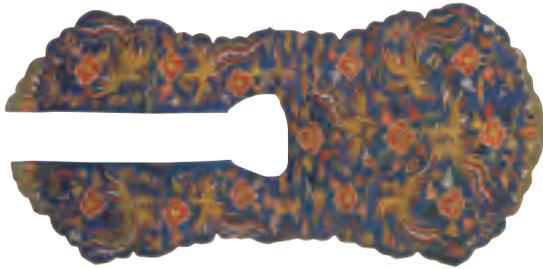
縁起物を身にまとう

「中国の吉祥文様」

2015年1月2日(金)～4月5日(日)

古来より人々は、幸いをもとめて、衣服や身の回りの持ち物に縁起の良い文様を表わしてきました。中国の伝統的な吉祥文様は、日本でもなじみのある鳳凰文や鶴文などのほか、中国で特に好まれてきた靈芝文、龍文、石榴文、唐子文、牡丹文、蝙蝠文などがあります。それらの文様には、いったいどのような祈りが込められているのでしょうか。

春節(正月)に合わせて、吉祥文様を表わした緞通(絨毯)、刺繍、織物などを、その隠された意味とともにご覧いただきます。(小山弓弦葉)



女子官服用襟飾
青地牡丹鳳凰文様刺繍
中国 明時代・16～17世紀
鳳凰文を刺繍した宮廷女官の美しい襟飾り

東洋館 8室
「中国の絵画」

お正月は、おめでたい絵画を！

「吉祥のかたち」

2015年1月2日(金)～1月25日(日)



中国風景図
中国 清時代・19世紀
「入船」は、船が福を携えてくるという縁起の良い画題。塔とジャンク(中国船)は、西洋人がもつ東洋のイメージを代表するモチーフです

新年を言祝い、吉祥の画題を中心に展示します。松や梅は文人の高い徳や長寿と結び付けられ、意気旺盛な「老松」や、幹が二つにわかれた「双松」の姿は、おめでたい画題として多く描かれてきました。

また今回、「トレードペインティング」(貿易絵画)と呼ばれる、清時代末期に広東を中心で作られた絵画を展示します。欧州へのお土産品として作られた中国の風景ですが、多くは幸をもたらす貿易港の賑わいを華やかに描いた作品です。

一年の始まりを、おめでたい画題の中国絵画でお楽しみください。(塚本磨充)

東洋館 10室
「朝鮮の陶磁」

戦国武将のハートをキャッチ！

朝鮮時代の茶碗

2015年4月5日(日)

このたび、広田松繁(不孤斎 1897～1973)寄贈品を中心に「高麗茶碗」の名品を選びすぐて展示します。

主に朝鮮時代(1392～1910)に作られた素朴な日常使いの碗は、室町時代の終わりごろから日本の茶人のあいだで「高麗物」の茶碗として珍重され、今まで大切に守り伝えられてきました。

なかでも代表的な井戸茶碗。その魅力は、両手に余るような大ぶりの姿と、豪快な轆轤削りの妙にあります。中国製「唐物」の天目にはない力強い造形が、戦国時代を生きた日本の武将たちに好まれたのでしょうか。

名もなき陶工たちの技を見比べながら、やきものの魅力に浸ってみてはいかがでしょうか。(三笠喜子)



大井戸茶碗 銘 佐野井戸
朝鮮 朝鮮時代・16世紀 広田松繁氏寄贈
釉はほんのりと枇杷色を帯び、竹節状の高台、そのまわりには「梅花皮」がみられ、見どころある名器として知られます

屋外展示「朝鮮の彫刻」

お墓を守る、かわいい石像

羊

通年展示



羊
朝鮮 朝鮮時代・18～19世紀 韓国江原道
「羊」が「大きい」と書いて「美」。ひつじ年は博物館の年です。羊を愛でてから東洋館にも足をお運びください

韓流時代劇でもおなじみとなった朝鮮時代、王や両班など、高貴な人物のお墓の周りには、人物や動物の石像が立てられました。お墓の周りに石像を立てる風習は、統一新羅時代・8世紀ごろ始まり、高麗時代を経て、朝鮮時代にも行われました。お墓を守る石像のうち、人物像は文官や武官をあらわし、動物像には羊や虎、馬や牛などがあらわされています。

当館の前庭の芝生にある羊の像も、そのような石像の一つです。未年を迎えるのを機会に、あらためて羊の石像にもご注目ください。(白井克也)

法隆寺宝物館

宝物に浸る

平成館

考古で遊ぶ

●平成館 考古展示室

王の足を飾る美しい装飾

金銅製沓

〜2015年2月1日(日)

*12月9日(火)以降は、本館1室にて展示

東アジアで広く用いられた美しい亀甲繫文を打ち出し、外面に歩揺、沓底に鋭いスパイクが付付けられています。朝鮮半島伝来の葬送儀礼用の沓で、その後日本列島で独自に発達・大型化する金銅製沓の先駆けです。朝鮮半島・百済の武寧王陵では、棺台と共に足坐が出土しています。おそらく葬送儀礼の際に、足坐に載せて高く挙げられた王の足を覆い飾ったのでしよう。

明治6年(1873)に出土し、冠・耳飾・

●法隆寺宝物館 第4室

奈良時代の貴重な象牙彫刻

重文 紅牙撥鏝尺

11月26日(水)〜2015年1月25日(日)

天平尺(奈良時代に用いられた尺)の二尺のものさしで、象牙の表面を紅く染め、宝相華や鴛鴦を線刻しています。

撥鏝とは、象牙を紅・緑・紺などに染め、その表面を彫り込んで、文様を表わす技法のことです。唐時代に行なわれた象牙彫刻の技法の一つで、正倉院宝物と法隆寺献納



(部分)



◎紅牙撥鏝尺
奈良時代・8世紀
上半分は5区に区画され、ものさしの目盛になっています

宝物の中にも、古代の遺例が見られます。この撥鏝尺はその貴重な一例で、深紅と象牙色の対比がとても鮮やかです。ただし線彫りは浅く、彫り溝が褐色に着色されるなど、正倉院宝物の作例とは異なる点もみられ、この尺は日本で制作されたものと考えられています。(竹内奈美子)



●金銅製沓
熊本県玉名郡和水町 江田船山古墳出土
古墳時代・5〜6世紀
亡き王の足を飾った、煌びやかで豪華な葬送儀礼用の飾沓

すべてが日本を代表する考古資料として国宝に指定されています。(古谷毅)

本作品をはじめ、12月7日(日)まで平成館考古展示室で展示されている作品の一部は、12月9日(火)以降、本館1室にて展示されます。

鏡など多数の副葬品と共に、当館2番目の考古資料として、関東大震災や戦争の疎開などを越えて収蔵されてきました。戦後、

1000年後の未来に パトンタッチ!

保存と修理情報

26

温湿度計の仕組み

展示室で写真1のような機械を見かけませんか? これは湿度と湿度を計測するための通称「毛髪計」と呼ばれるものです。湿度を感知するのに人間の毛髪が使われているので、毛髪計と呼ばれるようになります。

毛髪は湿度が変化すると伸びたり縮んだりします。その伸縮度合いを指示針の上下動に置き換えて、記録用紙上に変動を印字します。つまり、湿度計測の原理は毛髪という物質の変化を応用しているのです。

毛髪だけで作られた作品はあまり見かけませんが、例えば紙や織物に使われている繊維のように類似構造を持つ素材はたくさん存在します。そうした素材が湿度変動によってその都度大きく伸縮してしまうと、いずれ亀裂や剝離といった損傷を起こしてしまいます。従って展示室や収蔵庫では湿度の変動をなるべく小さくすることが作品を安全に保存するための大きなポイントになります。

湿度を計測するには、温度変化に伴い伸縮する金属の性質を利用しています。安定した温湿度環境を整えること



写真1 展示室に置かれた通称「毛髪計」

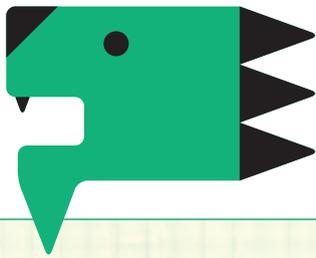


写真2 湿度を感知する毛髪の束。く字に曲がっています



写真3 湿度を感知する金属板。丸で示した湾曲部です

が作品保存の基本だということをご理解いただければ幸いです。(和田浩)



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

PART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び 講座・講演会・解説

講演会

月例講演会「法隆寺と聖徳太子をめぐる空間と美術」

日時:12月6日(土) 13:30～15:00(13:00開場予定)
会場:平成館大講堂 定員380名(先着順)
講師:阿部泰郎(名古屋大学教授)・土屋貴裕(平常展調整室研究員)
法隆寺の舍利殿、絵殿に伝わった南無仏太子像と太子絵伝。この二つの美術作品を中心に、法隆寺における太子信仰の諸相を読み解きます。
*聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)。

月例講演会「博物館に初もうで～ひつじと吉祥図様を探る旅」

*関連展示:本誌2～3ページ
日時:2015年1月10日(土) 13:30～15:00(13:00開場予定)
会場:東京文化財研究所セミナー室 定員110名(先着順)
講師:金井裕子(特別展室研究員)
2015年は未年。トーハクのあちこちに点在する「ひつじ」をめくりながら、お正月にふさわしいおめでたい作品の数々をご紹介します。
*聴講無料(ただし、当館の入館料が必要、半券でも可)。

ギャラリートーク

特集 中国書画精華 明清絵画の愉しみ

日時:12月2日(火) 14:00～14:30 東洋館8室
講師:塚本麿充(東洋室研究員)
特集「中国書画精華一護り伝えられてきた名品たち」(～12月7日(日))、絵画の後期展示では主に明清時代の名品を展示しています。文人たちの高い美意識に貫かれた傑作の数々をご案内します。

天部のほとけ

日時:12月9日(火) 14:00～14:30 本館11室
講師:浅津毅(教育講座室長)
インド・中国や日本など、それぞれの民間神が仏教に取り入れられ守護神となった天部。その姿はバラエティにあふれています。今回は日本の神将像に焦点をあててお話しします。

松林図屏風 *関連展示:本誌2～3ページ

日時:2015年1月6日(火) 14:00～14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師:金井裕子(特別展室研究員)

深い霧に沈む松林の奥に、かすむ雪山の稜線が見えますか? 印刷物ではわからない松林図屏風の魅力をわかりやすくお伝えします。

世尊寺家の古筆

日時:2015年1月20日(火) 14:00～14:30 本館3室
講師:島谷弘幸(副館長)
藤原行成の一派は能書で、宮廷書壇の中心でした。その遺墨から書風の変遷をたどりながら、世尊寺流の書を鑑賞します。

水滴を楽しむ

日時:2015年1月27日(火) 14:00～14:30 本館14室
講師:伊藤信二(広報室長)
動物、植物、人物など多彩な銅製水滴の世界をご紹介します。

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

ひび割れたうつわ

日程:2015年1月20日(火)・27日(火)、
2月1日(日)・5日(木)・10日(火)・12日(木) 各回15:30～15:50
場所:東洋館10室 集合場所:東洋館1階エントランス
解説者:菅沢そわか(美術研究科芸術学芸史専攻)
なぜ、ひび(貫入)のに入ったやきものが宋時代につくられ、愛されたのか。陶磁の文人の価値観などを紹介し、ひびのに入ったやきものが愛された理由を考えます。

若沖と鶏

日時:12月14日(日)・16日(火)・18日(木)・23日(火・祝)、
2015年1月15日(木)・22日(木) 各回15:30～15:50
場所:本館7室 集合場所:本館1階エントランス
解説者:日比野香香(美術研究科日本・東洋美術史専攻)
若沖の描いた鶏は、実物を観察・写生したにも関わらず、実際の作品では写実的なものとは異なります。その差に着目し、若沖にとって絵を描くことは何だったのかについて考えます。

近代日本彫刻としての佐藤朝山「シャクンタラ姫とドウシャンタ王」

日時:2015年1月8日(木)・11日(日)・25日(日)・29日(木)、
2月3日(火)・8日(日) 各回15:30～15:50
場所:本館18室 集合場所:本館1階エントランス
解説者:山崎泰行(美術研究科日本・東洋美術史専攻)
近代の特殊な時代背景や、作者である佐藤朝山の人間性、作品の主題や造形に着目し、近代日本彫刻としての「シャクンタラ姫とドウシャンタ王」について解説します。

東博ボランティアデー 2014

今年も国際ボランティアデーにちなんで、12月6日(土)・7日(日)に「東博ボランティアデー」を開催します。

博物館に来て、どこから見たらよいか、どう過ごそうか、迷ったことはありませんか? 皆さんにトーハクでの時間を「より楽しく」「より快適に」過ごしていただくために活躍しているのが、当館のボランティアです。腕章をつけたボランティアが、館内各所でのご案内や、体験コーナーでのお声かけ、イベントやワークショップの運営サポートなどを行っています。また、さまざまなガイドツアーも行っています。

ボランティアデーでは、通常の活動に加えて、ボランティアによるすべてのガイドツアーと、ボランティア活動を紹介するツアーに参加することができます。

◆どんな活動をしているの? 「ボランティア活動紹介ツアー」

実際の活動現場を現役ボランティアがご案内します。ボランティアに興味をもっている方、直接ボランティアと会話をするチャンスです。

時間:10:30～11:30、12:30～13:30(時間内随時受付。30分程度)
受付:本館1階エントランス(ミュージアムショップ側)

◆ボランティアになりたい! 「東博ボランティア募集説明会」

平成27年度のボランティアの応募をお考えの方に、ボランティアの概要と活動

の仕組み、応募方法をご説明します(説明会参加は応募条件ではありません)。
時間:10:00～10:30、12:00～12:30、16:00～16:30(すべて同内容)
場所:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

◆参加してみよう! 「ボランティアによるガイドツアー」

実施内容

12月6日(土):考古展示室ガイド、たてもの散歩ツアー、アートスタジオ、彫刻ガイド、刀剣・武士の装いツアー、浮世絵ガイド、樹木ツアー、本館ハイライトツアー、庭園茶室ツアー、陶磁ガイド、法隆寺宝物館ガイド

12月7日(日):彫刻ガイド、アートスタジオ、英語ガイド、お茶会、東洋館ツアー、本館ハイライトツアー、近代の美術ガイド、浮世絵ガイド、考古展示室ガイド、法隆寺宝物館ガイド

*集合場所、時間などの詳細はチラシ、当館ウェブサイト、当日の館内案内をご覧ください。
*ボランティアデーの催しは、お茶会を除いて参加無料です。ただし、当日の入館料が必要で、
*お茶会(先着15名)、庭園茶室ツアー(先着20名)は開始30分前に集合場所で整理券を配布します。
*アートスタジオは申込を締切りました。

見学ツアー

事前申込制 [往復はがき]

見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」

文化財の保存と修理についての解説および修理室等の見学ツアーを行います。本館展示室内での解説や刀剣や書画の修理室をご案内します。

日時：①2015年3月5日(木) 14:00~16:10

②3月6日(金) 14:00~16:10

定員：①②ともに20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要)

申込方法:往復はがきでお申し込みください。「往信用裏面」に(1)氏名、ふりがな、(2)郵便番号・住所、(3)電話番号、(4)希望の回(①3月5日・②3月6日のいずれか)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

*1枚のはがきで①②どちらか一方、1名のみ申込可。

申込締切：①②ともに2月2日(月) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館教育講座室「保存ツアー」係

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

こどもたちのアートスタジオ

「勾玉作り」

古代の勾玉について学んだ後、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：2015年2月1日(日) 13:30~15:30

会場：本館地下 みどりのライオン

(教育普及スペース)

対象：小学校3年生から中学生(保護者の見学も可)

費用：無料(ただし、保護者は当日の入館料が必要です)

定員：20名程度(応募者多数の場合は抽選)

申込方法:当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申し込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名、ふりがな、お子さんの学年、(2)参加者全員の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください)、(3)代表者の電話番号、(4)保護者が一緒の場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

*1枚のはがきで最大2名まで申込可。

申込締切：1月8日(木) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「2月1日勾玉作り」係



工具を使って石を削っていきます

- *「東洋館シアター」とは、東洋館TNM&TOPPAN ミュージアムシアターのことで、
- *事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代)
- *各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。



東京国立博物館 ボランティア!

あなたのお役に立ちたい! ボランティアさんの1日

トナーハクを陰に日なたに支えているボランティアさん。その活動の様子をトナーハクくんと一緒にのぞいてみましょう。(*下記の流れは一例です)

10:00 朝のミーティング

ボランティア活動室に集合して、展示に関する情報の共有や当日の連絡事項の確認をしたり、1日のシフトを決めたり。みんなが率先して担当を決めています。

進行役の日直さんは、当日の立候補補なんだほ!



10:30 シフト①

本館19室 みどりのライオン 体験コーナーの運営。館内を案内したり、伝統模様のスタンプでポストカードを作るお客様をサポートしたり。

目立たず構えずそっとお客様のお手伝い。素敵だほ!



11:30 休憩

12:30 シフト②

本館1階エントランスで館内のご案内。どこから回れば...と悩んでいる人はいないかな?

迷える我らを導き給えー



13:30 休憩

14:30 自主企画活動

所属している自主企画活動のグループで考古展示室ガイドを担当。作品についてしっかりと理解を深めて臨みます。

(ボ、ボクより詳しい...? 何者だほ...!?)



15:30 シフト③

東洋館オアシス6で、羊のシャガイを使った占いなどをご紹介。悪い結果が出たら...「さ、練習はいいですね。次が本番ですよ!」とすかさずフォロー。

3度目の正直だほー!



16:30 夕方のミーティング

それぞれの持ち場で片付けと明日の準備を終えたら、ボランティア活動室に集合して、今日の活動の報告をします。

今日も1日、おつかれさまだほー!

ボランティアさんの活動は大きく2種類!

ボランティアさんの中には、ご案内などの基本活動のほかに、自主企画活動のグループに所属している方もいます。「本館ハイライトツアー」など、トナーハクで実施されているガイドツアーの多くは、このボランティアさんの自主企画活動によるものなのです。

① 基本活動

すべてのボランティアさんが月2回以上行う、体験コーナーの運営、ご案内などの活動。任意でワークショップの実施補助などのグループに登録することも。

② 自主企画活動

①を月2回以上実施したうえで、余裕がある場合には自主企画活動のグループに参加することもできます。現在は16グループが活躍中!



展示のほかに樹木や建物などを紹介するツアーを企画するグループも

展示室の案内からガイドツアーまで! ボランティアさんさえいれば、ユリノキちゃんいらす...

お呼び出します。トナーハクくん、トナーハクくん。東洋館裏までお越しください。☆



海洋堂・考古学フィギュア第2集が発売!

海洋堂による精巧なフィギュアとして好評を博した考古学フィギュアの第2集が発売されました。第2集では、当館が誇る名品「みみずく土偶(重要文化財)」や「埴輪 挂甲の武人(国宝)」、「火焰土器」など合計6種類(3,980円(税抜))をセットにて販売しています。



文化財防災ネットワーク推進本部の発足について

独立行政法人国立文化財機構は、この度、理事長を本部長とする「文化財防災ネットワーク推進本部」を発足させました。東日本大震災等における文化財レスキュー事業等の経験を踏まえ、大規模災害に対応した文化財等の救出・救援体制を確保するため、文化財等の防災に関するネットワークを構築するとともに、人材の養成、情報の収集・分析・発信を行います。今後は「文化遺産防災ネットワーク推進会議」の開催などの取り組みを行っていく予定です。



資料館より一資料のデジタル化について

当館では、1994年頃から文化財の写真フィルムのデジタル化を本格的に行ってきました。現在は作品のデジタル撮影を実施しています。通常の写真フィルムのデジタル化だけでなく、マイクロフィルムのデジタル化や、三次元計測による立体物の形状データも作成し、調査研究や一般公開に役立てています。近年では特に、館蔵の和古書・洋古書のデジタル化を進めており、当館以外にはあまり所蔵されていない貴重な本をより広く公開する予定です。準備が整い次第あらためてお知らせします。

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究、総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

- 〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上
 - 特別会員 100万円(1口)
 - 維持会員 20万円
- 〈個人〉プレミアム会員 100万円以上
 - 特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジット・カード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東洋館・平成館・表慶館を休館します

展示環境整備およびリニューアル工事のため、下記の展示館を一時休館します。

東洋館:12月8日(月)~2015年1月1日(木・祝)[展示環境整備のため]

平成館:12月8日(月)~2015年4月以降、特別展示室より順次開館

[リニューアル工事のため]

*平成館考古展示室の一部作品は、本館1室にて展示されます。

表慶館:当面の間[展示環境整備のため]

*特別展・催し物開催時は開館します。

東京国立博物館 クリスマスコンサート ~世界の堀正文によるストラディヴァリウスの音色を~

日時:12月14日(日) 開場13:30 開演14:00

会場:平成館ラウンジ

出演:堀正文(ヴァイオリン)、三木香代(ピアノ)、北條陽子(ピアノ)

曲目:ドヴォルザーク=「ユーモレスク」op.101より 4番・7番

バガニーニ=ソナタ(テーマとヴァリエーション)

エルガー=愛の挨拶

クライスラー=美しきロスマリン ほか

料金:5,000円 友の会・賛助会割引4,500円 全席自由

*当日は、コンサートチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。

主催:東京国立博物館 サロン・ド・ソネット

〈チケットのお求め方法〉

○当館正門チケット売場でのチケット販売

受付時間:開館日の9:30~閉館の30分前まで

○電話予約販売

申込先:東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL:03-3821-9270

受付時間:月曜日~金曜日 9:30~17:00(土日・祝日は除く)

引換方法:公演当日、9:30~当館正門チケット売場にて現金引換え

東京国立博物館賛助会員 2014年10月24日現在

特別会員 団体

日本電設工業株式会社様
株式会社 コア様
大日本印刷株式会社様
毎日新聞社様
株式会社 大林組様
朝日新聞社様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ様
株式会社 ミロク情報サービス様
読売新聞社様
三菱商事株式会社様

凸版印刷株式会社様
ブルガリジャパン株式会社様
公益財団法人 東芝国際交流財団様
日本写真印刷株式会社様
日本ロックス株式会社様
サロン・ド・ソネット様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ様
株式会社 東芝様
株式会社 みずほ銀行様
一般財団法人 東京国立博物館協会の様

維持会員 団体

TBS様
株式会社 精養軒様
株式会社 三冷社様
株式会社 東京美術様
株式会社 鶴屋吉信様
日本通運株式会社様
株式会社 安井建築設計事務所様
株式会社 ナガホリ様
松本建設株式会社様
株式会社 古美術数本様

謙慎書道会様
近代書道研究所様
日本畜産興業株式会社様
株式会社 東京書芸館様
インフォコム株式会社様
学校法人 大勝院学園様
有限会社 システム設計様
株式会社 インターネットイシアティブ様
株式会社 小西美術工芸社様
公和図書株式会社様

有限会社 ギャラリー柳樹様
株式会社 育伸社様
株式会社 モリサワ様
アミ開発有限会社様
光村図書出版株式会社様
キョーリン製菓ホールディングス株式会社様
株式会社 資生堂様
株式会社 グラスバウハーゲン・ジャパン様
キッコーマン株式会社様
公益社団法人 創玄書道会様

朝陽書道会様
一般社団法人 書芸文化院様
株式会社 都市環境企画様
全日本空輸株式会社様
楽天銀行株式会社様
株式会社 清光社様
有限会社 アトリエエビス様
一般社団法人 学士会様
公益財団法人 書道芸術院様

維持会員個人

木村 則子様	星 瑩 由尚様	岡田 博子様	木谷 順一郎様	細川 要子様	福井 一夫様	尾崎 昌彦様	星 弘道様	加納 隼人様	供田 扶美様	中村 政憲様	平田 恭之様
高木 聖鶴様	渡辺 章様	白井 生三様	高梨 兵左衛門様	錦織 伸一様	軽部 由香様	山本 雅司様	熊谷 潤子様	林 和人様	福政 正廣様	中村 光宏様	梅澤 鳳舞様
伊藤 信彦様	稲垣 哲行様	津久井 秀郎様	渡久地 ツル子様	鈴木 幸一様	木越 純様	倉片 康雄様	西永 義久様	清水 透石様	江幡 真史様	小野 透様	羽石 史生様
篠内 匡人様	帖佐 誠様	川邊 祐勝様	汐崎 浩正様	秋元 文子様	井上 保様	栗山 哲夫様	田中 節山様	持田 隼人様	竹内 和世様	菅野 良子様	笠原 勉様
服部 悦子様	飯岡 雄一様	神通 豊様	堤 勝代様	土師 昭三様	田中 信様	山根 宗芳様	高木 聖雨様	野本 陽代様	岡野 一昭様	中田 公人様	長瀬 正行様
岩沢 重美様	幸村 協成様	永久 幸範様	平井 千恵子様	岡 靖子様	岡 靖子様	梅本 聖様	田浦 宏己様	福田 倫子様	中山 英典様	中島 米治郎様	武井 伸之様
高田 朝子様	牧 美也子様	五十嵐 良和様	青山 道夫様	鏡 賢志様	古川 晴紀様	榎本 享世様	山中 翠谷様	佐藤 芙蓉様	伊藤 彰信様	田中 久丸様	前田 寿子様
齋藤 京子様	高瀬 正樹様	石川 公子様	高橋 静雄様	菊地 昌之様	田頭 一舟様	田頭 一舟様	荒木 章様	青山 慶示様	小林 浩和様	神田 靖男様	
齋藤 邦裕様	坂井 俊彦様	池田 真子様	田中 千秋様	渡邊 雪絵様	岩本 光雄様	岡田 良雄様	福岡 隆様	谷内 英一様	加藤 正叙様	森本 昇生様	ほか85名2社、
和田 喜美子様	寺浦 信之様	青山 千代様	小西 晴也様	佐藤 禎一様	山本 隆幸様	阿部 和加子様	関口 大志様	杭迫 柏樹様	蔵口 真理様	石飛 博光様	順不同
佐々木 芳絵様	高木 美華子様	藤崎 英喜様	清川 勉様	田中 榮二様	鈴木 春朝様	井茂 茂信様	柳村 衛様	樋口 コウ様	田中 文雄様	清原 真里様	
藤原 紀男様	吉原 知良様	仙石 哲朗様	谷川 紀彦様	増尾 信義様	安田 格様	高味 良信様	樺澤 剛志様	樋口 順一様	宮下 雅博様	角田 保行様	
中川 俊光様	古屋 光夫様	西岡 康宏様	田中 望様	山口 隆司様	名取 幸二様	廣田 積様	小日向 志乃様	吉永 喜代子様	川上 宗雪様	平尾 住彦様	
関谷 徳衛様	根田 穂美子様	友景 紀子様	三井 遠雄様	原 一之様	増尾 信義様	杉山 恭規様	佐藤 貴士様	長嶋 益子様	一川 毅彦様	水野 和良様	
高橋 守様	松本 澄子様	東野 治之様	坂詰 貴司様	会田 健一様	梅本 英信様	山田 浩一様	横田 隆義様	富山 仁美様	田代 雅彦様	谷口 敏枝様	
小澤 洋一様	是常 博様	辻 東二様	吉田 靖様	桐畑 政義様	相良 多恵子様	秋元 あかね様	新保 幸男様	富山 仁美様	昆 政彦様	三浦 基広様	
上久保のり子様	上野 孝一様	竹下 佳宏様	松本 雅彦様	相良 多恵子様	本條 陽子様	笹菜 美子様	山田 伊知郎様	藤本 勝司様	中村 伸夫様	金光 真佐一様	
榎田 良豊様	北山 喜立様	野澤 淳子様	篠田 喜弘様	熊谷 勝昌様	西原 賢一様	村井 明美様	中野 俊介様	高山 真行様	高橋 薫様	岩瀬 源史様	
長谷川 英樹様	山田 泰子様	坂田 浩一様	片山 正紀様	鈴木 昌様	安田 格様	久保田 哲暁様	手塚 真由美様	渡辺 陽子様	清田 志郎様	青木 瑞枝様	
池田 孝一様	野口 知子様	池谷 正夫様	伊藤 壽雄様	今里 美幸様	原田 清朗様	小塚 泰博様	井出 宗則様	鈴木 深泉様	松橋 優様	川上 陽子様	
木村 剛様	柴田 陸子様	脇 素一郎様	井上 雄吉様	櫻井 恵様	筑紫 みづえ様	星 八郎様	土屋 和彦様	今村 正様	宮川 寛子様	福代 咲山様	
観世 あすか様	網村 安代様	秦 彦彦様	大森 雅子様	伊佐 健二様	鳥山 玲様		唯田 榮一様	李雲 莉様	佐野 淑子様	竹内 明世様	

TNM & TOPPANミュージアムシアター

- ①『DOGU 国宝になった女神』～12月7日(日)
 ②『法隆寺宝物館 聖徳太子ゆかりの名品 太子絵伝と灌頂幡』～2015年2月1日(日)
 ③『国宝 檜図屏風と狩野永徳』2015年1月4日(日)～4月26日(日)

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

*12月8日(月)から2015年1月1日(木・祝)までの間は、東洋館の休館に伴い休演します。
 *2015年1月2日(金)・3日(土)はお正月イベントとして、鑑賞料無料です。また、すべての回が②の上演となります。

*総合文化展とセット購入で一般:1000円/大学生800円

*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

*詳細はウェブサイトをご覧ください。URL <http://www.toppa-museum.jp/mt/>



特別展「みちのくの仏像」チケット、 または2015年東京国立博物館 カレンダープレゼント

本誌4ページでご紹介した特別展「みちのくの仏像」(2015年1月14日(水)～4月5日(日))のご招待券(10組20名様)または東京国立博物館のオリジナルカレンダー(5名様)を抽選でプレゼントします。締切は2015年1月26日(月)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、この号で一番おもしろかったページ・企画ならびに希望のプレゼントをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース12・1月号」プレゼント係



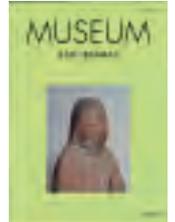
「博物館で野外シネマ」を開催しました

10月10日(金)、11日(土)に本館前で開催された「博物館で野外シネマ」は、お陰様で8,600人の来館者を迎え、学生サポーターの活躍もあり、盛況のうちに幕を閉じました。ありがとうございました。



『MUSEUM』652号(2014年10月15日発行)の掲載論文

- ①「広島・南宮神社神像群と神像の物語性」
丸山士郎(平常展調整室長)
 ②「丹生都比売神社所蔵葦手絵兵庫鎖太刀の葦手絵の解釈についての一試論」酒井元樹(保存修復室研究員)
 定価:1,543円(税込)
 お問い合わせ:当館ミュージアムショップ または
 中央公論事業出版(電話03-3535-1321)



ボランティア募集のお知らせ

平成27年度 東京国立博物館ボランティア募集

当館では、東京国立博物館をもっと身近に感じ、安心して楽しんでいただけるように、ボランティアが活躍しています。館内のご案内や教育普及スペースの運営、バリアフリー対応、ワークショップ・講演会などの運営補助、スクールプログラムの実施、さらに、自主企画グループによるさまざまなガイドツアーも行っています。平成24年登録のボランティアの任期が満了するのに伴い、平成27年4月から活動をされる方を新たに50名程度募集します。

応募受付期間は、12月11日(木)～2015年1月15日(木)必着です。募集要項は、館内または当館ウェブサイトダウンロードできます。

あなたもトータルでボランティアをしてみませんか?

*お問い合わせ ボランティア室 TEL:03-3822-1111(代)

東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- ～12月、2015年3月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、～12月7日(日)の土・日曜、祝・休日は18:00まで開館。

休館日:

月曜日(祝日・休日に当たる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2014年12月24日～2015年1月1日)、ただし2015年3月23日(月)、30日(月)は特別開館。

総合文化展観覧料金

一般=620(520)円

大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申し込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。

*次号よりご送付希望の場合、締切は2015年1月10日(土)です。

最新情報は、ウェブサイト、
Facebook、Twitter、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

発行日から1年間有効

年会費 10,300円

*有効期限1ヵ月前からの継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート

発行日から1年間有効

一般 4,100円

29歳以下 3,000円

学生 2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック

発行日から1年間有効

一般 1,500円

29歳以下 1,100円

学生 900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

◎お問合せ

電話03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当
FAX03-3821-9680

*各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報、当該目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

▶各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

[ウェブサイト]

申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

[郵便振替でのお申込]

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

- 振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読&パスポート・ベーシック

加入者名(振替先)

東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号00140-1-668060

- パスポート・ベーシックの申し込みの場合、振替用紙に申込区分([パスポート・ベーシック][一般・29歳以下・学生])を記入し、[29歳以下]・[学生]の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館 ニュース 第728号 平成26年12月1日発行(隔月1回偶数月発行) 編集/東京国立博物館 広報室 ©東京国立博物館 発行/東京国立博物館 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 TEL 03-3822-1111(代表) *ウェブサイトの(URL)http://www.tnm.jp/ 独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト(URL)http://www.nich.go.jp デザイン/D_CODE 制作/凸版印刷株式会社

Table with 2 columns: Date (1月 to 31月) and Event details (e.g., 休館日, 「特集 中国書画精華」, 「天部のほとけ」).

Table with 2 columns: Date (1月 to 31月) and Event details (e.g., 休館日, 新春イベント, 「近代日本彫刻としての佐藤朝山」).

【東北】=特別展「みちのくの仏像」関連事業
【被災】=特別展「3.11大津波と文化財の再生」関連事業
*1 事前申込制。申込は締め切りました *2 有料イベント。詳細は14ページ *3 詳細は3ページ

講=月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業については、当該ページ)
G=ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
茶=託児サービス実施日(12:30~15:30) 事前予約制 有料
本=ボランティアによる本館/ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
彫=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
樹=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス
法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス

考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口(12月9日以降のガイドは本館1階エントランス集合、本館1室をご案内します)
茶=ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス(先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
近=ボランティアによるたでの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス
浮=ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス
東=ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館1階エントランス
東=ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス
作=ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ・アートスタジオ 事前申込制
藝=藝大インターンによるギャラリートーク、詳細は本誌12ページ

屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。